令和6年度 第2回 志摩市社会教育委員会議 議事要旨

日時 令和7年2月12日(水)
午前10時00分～午前11時00分
場所 志摩市役所401会議室

開会に先立ち、事務局より、委員8人中6人が出席したため、志摩市社会教育委員に関する条例第6条第2項の規定により本会議の成立を報告

1. あいさつ

- 教育長あいさつ
- 委員長あいさつ

2. 議題

(1) 令和7年度社会教育関係事業(計画)について

令和7年度社会教育関係事業(計画)について、事務局より説明

【質疑応答・意見】

- ・ 文化振興関係補助金について、どのような事業への補助か。(委員)
⇒志摩市文化協会事業への補助である。(事務局)
- ・ スポーツフェスティバル開催事業について、他の事業より参加者数が大変多いが、単日で開催されているものなのか。(委員)
⇒単日でイベントを開催し、好評いただいている。(事務局)
- ・ スポーツウェルネスDX推進事業について、アプリ開発費用がかかっているため登録者数が増えるとよいと感じる。登録者数について、年齢層は把握されているか。また、アプリ利用が苦手な高齢者がいると思うが如何。(委員)
⇒生涯学習スポーツ課単体ではなく健康福祉部の担当課と連携して進めており、イベント等を活用して引き続きアプリの周知に努めていく。登録者の年齢層は、把握できている。使い方のサポートは、職員で対応している。(事務局)
- ・ スポーツ文化全国大会等出場激励金について、国際大会に通じた事例は市内にあるか。(委員)
⇒文化事業について、直近では事例なし。スポーツについて、相撲やサーフィンの国際大会出場事例がある。ただし、ブラジリアン柔術について、国際大会であったが予選等のない大会であったため規定上対象とならず、市長と面談する壮行会や報告会の形式をとった。(事務局)
- ・ 大般若経の文化財指定を受けるには、どのような流れか。(委員)
⇒申請いただき、文化財調査委員会に諮り、認められた場合に指定となる流れである。(事務局)
- ・ 岡山シーガルズによるバレーボール教室について、令和7年度はどのようになるか。(委員)
⇒市主催で実行委員会を立ち上げて行う形はしないこととなり、志摩市スポーツ協会への補助金を増額し、協会に委ねることになった。なお、バレーボール教室に限定するということではなく、他の種目の教室開催も申請可能である。(事務局)

(2) 社会教育等に関する質問・意見について

番号	質問・意見（社会教育委員）	回答内容（事務局）
1	<p>他の市町では、生徒数の減少や先生の負担を減らすため、部活の外部委託が進められているようです。志摩市の現状はどうかと、今後どうしていく考えなのか教えてほしいです。</p> <p>外部委託になると、場所によっては保護者の送迎が必要になったりして負担が増えそうで大変ですね。</p>	<p>部活動地域移行の進捗としては、令和6年度も引き続き学校部活動在り方検討会を開催しています。8月の第1回では部活動ガイドラインの改正と検討会内に専門部（指導者部会）を設置可能にする要綱の改正を行いました。10月の第2回では11月にスポーツ体験会を実施するための事前アンケート結果の検証と体験会内容について検討し、11月に体験会を実施しました。2月18日には第3回を開催予定で体験会のアンケート結果を検証する予定です。志摩市としては昨年の本会議でも説明させていただいておりますが、令和8年度より休日の部活動については地域への完全移行を目指していくこととし、検討会でも共通認識として確認しているところです。</p>

【質疑応答・意見】

- ・ 令和8年度からの休日の部活動地域移行を目指すとのことであるが、指導者の育成や確保は間に合うか。（委員）
⇒学校部活動在り方検討会においても、指導者の確保や報酬などが課題となっている。調査研究を行い、一つずつ課題解決に向けて取り組んでいく。各種目において、どういったレベルのチームを目指していくのかという考え方により、指導者の確保の仕方は異なるものになるため整理していく必要がある。市としては、令和8年度において目指すところは、休日の部活動地域移行にあり、指導者の確保に向けて動き、子ども達が運動のできる環境の整備に取り組んでいく。（事務局）
- ・ 生徒の送迎に関して、市ファミリー・サポート・センターの活用も一つ考えられる。有料であるが補助等の支援を検討いただければと思う。（委員）
- ・ 少子化の影響により部活動の種目は減りつつあり、一部の学校では深刻な状況にある。子ども達がスポーツのできる環境の整備は重要な課題である。（委員）

(3) 三重県社会教育委員連絡協議会における研修事業の振り返りについて

令和4年度から令和6年度までの三重県社会教育委員連絡協議会における研修事業の振り返りを行い、委員の意見や感想等を踏まえて本研修事業の成果と課題について、事務局で取りまとめた内容を説明

【意見】

- ・ 志摩市における地域学校協働活動に関して、社会教育委員の学校との関わり方が難しいと感じている。伝手がないとなかなか学校運営に関わる機会がなく、地域学校協働活動のテーマになりながらどう関わっていけばよいのか、その部分に課題があるのではないかと思う。（委員）
- ・ 地域コミュニティの弱体化について、非常に大事な課題と思う。（委員）

○傍聴者なし